

七瀬ふたたび (1998)

メディア TV

ジャンル SF ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

1998/04/06 ~ 1998/07/06

TV放映 月曜日
24 : 45 ~ 25 : 15
テレビ東京

【解説】

他人の心を読み取る事ができる超能力を持つ者＝テレパスである主人公・火田七瀬は、超能力者抹殺を企む謎の組織から逃れるため逃亡の旅を続ける。その逃亡の旅の途中で、七瀬は同じように超能力を持つが故に悩み傷ついてきた者――同じテレパスである少年ノリオ、予知能力者の岩淵恒夫、念動力を持つヘンリー、タイムトラベラーの漁藤子――と出会っていく。誤解や意見の相違から当初は反発しあう彼らであったが、やがて組織の手が伸びてきたことによって、それぞれの力を合わせて、これに立ち向かって行こうとするが……。

筒井康隆のロング・セラーの小説のテレビドラマ化。原作はすでに20年以上前に発表されたものであるが、今回のドラマ化にあたっては舞台を現代の90年代後半として、この時代としての描写を随所に盛り込んでいる。このため、大まかなストーリーの流れは原作とほぼ同じであるが、キャラクターの設定や個々のエピソードは大胆にアレンジされ、原作を読んだ者でも先の読めない展開となった。また、一步間違えれば安っぽくなりがちな超能力の描写も、演出、カメラワーク、照明、必要最低限のデジタルエフェクトで緊迫感あふれるものとなった。原作ではノリオの母親代わりという印象が強かった七瀬であるが、本作ではノリオの年齢設定を幼児から少年に変更したこと、また、主演の渡辺由紀の好演によって、組織に追われ、やがて積極的に仲間たちをまとめて戦いに転じて行くリーダーとしての印象を強く残す。このあたりに原作が書かれた時代と、本作が製作された時代での女性の社会的な立場の差を感じさせられる。

【クレジット】

監督	上野勝仁	
	舞原賢三	
監修	梶研吾	
プロデューサー	相原英雄	
	尾西要一郎	
	菅原章	
原作	筒井康隆	
シリーズ構成	近藤巧治	
	トマス中田	
脚本	林壮太郎	
	新田隆男	
撮影	菊池亘	
美術	大庭勇人	
編集	宮島竜治	
音楽	村山竜二	
出演	渡辺由紀	火田七瀬

安達哲朗		ノリオ
篠原直美		漁藤子
SLY ATAGA	SLY ATAGA	ヘンリー
谷原章介		岩淵恒夫
田口トモロヲ		西尾
筒井康隆		漁連平（藤子の叔父）
若松武史		若松刑事
ひし美ゆり子		一瀬栄子
水橋研二		